

福知山公立大学 2021年度入学式 式辞

本日、福知山公立大学地域経営学部並びに情報学部に入學されたみなさん、おめでとうございます。教職員をはじめ本学で働き学ぶすべての者たちを代表して、みなさんを新たな仲間を迎えることを心から喜び、歓迎いたします。

本年もご承知のとおり「コロナ禍」の中での入学式になりましたので、ご家族ご親族の方々を式場にお招きすることはできませんでしたがお慶び申し上げます。ご来賓も設置者である福知山市の市長大橋一夫様お一人だけにお越しいただき、祝辞を頂戴するという、例年のない入学式になりました。とはいえ、昨年とは違い、ともかくも入学式を挙行できたことをともに喜びあいたいと思います。お越しくださいました市長様には心からお礼を申し上げます。

さて、この新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延だけでなく、自然環境の危機的な悪化の一方で第4次産業革命とも言われる情報技術の飛躍的な発展の中で、人類の生産活動や社会生活にはかつてない激変が予測される時代にみなさんの大学での学びは始まります。

そこで改めて大学での学びについて、新入生のみなさんにここで申し上げておきます。

大学での学びは一言で言えば、みなさん自身が作り出すものだという事です。

学ぶ内容や方法は時代とともに不断に変わっていきます。とりわけ「コロナ禍」の中では、通常の対面授業だけでなく、IT技術を駆使した遠隔授業になる場合もあります。学び方の大きな変化です。学ぶ内容にも変化があるでしょう。しかし、大学での学びは本質的に変わりません。

大学には何を学ぶべきかを教員たちが真剣に検討した授業科目群が用意されています。しかし、どれほど準備されていても、学ぶべき内容がすべて用意されているわけではありません。私どものように小規模な大学ではとりわけそうですが、どれほど大規模な大学でも限界があることに変わりはありません。みなさんが欲しいと思っても品物が見当たらないデパートやスーパーマーケットと同じです。そんな場合には最近ではネット通販という便利なものがあって欲しいものを探し出すことが出来るようになりました。これと同じで、インターネットや膨大な書物の中から学びたいことを見つけることが出来るかも知れません。学ぶ内容を見つけ出す手段はかつてなく便利になっています。友人や先輩たちから教えられることもあります。これらを活用して学びを作り出すのはみなさん自身なのです。

他方、大学には必修科目があり、みなさんがあまり興味や関心を持ってない科目でも学習しなければ卒業できないものもあります。とりわけ本学では現地に赴き住民の方々と教員・学生がともに学びあう「地域協働型教育研究」として、地域経営演習や研究、あるいは地域情報PBLやプロジェクトなどを、4年間にわたって必修としています。みなさんは戸惑うことがあるかも知れません。もちろん、教員たちはみなさんが学ぶ意欲を持てるよう懸命に工夫し、努力もしています。ところが内容だけでなく、各種の科目の担当教員とソリが合わず、苦痛になることがあるかも知れません。そんな場合、同じ必修でも別の教員担当の科目に変更することもできない訳ではありません。

しかし、ここでみなさんは必ず立ち止まってください。興味が持てないとか、苦痛に感じたりしている自分自身を振り返ってください。大抵の場合、みなさんの学びや対人関係の経験はわずか18年間程度のものなのです。自分の興味関心や対人関係の感覚をその程度の体験の狭い範囲に閉じ込めてしまっていないませんか。学びを作り出す自分自身の枠を大胆に変えるのも学びなのです。私も含めて教職員たちは少し年齢を重ねていますから、体験の範囲は広いのですが、それでも自分の専攻や経験からこれまでに築いてきた枠を持っています。可能な限りこの枠にとらわれず、心の窓を開き、新しい空気を取り入れようと努力していますが、なかなか難しく、みなさんに上手く寄り添うことが出来ないものです。そればかりか自分の限界を自覚できず、枠をつき破る努力の下手な者もいるかも知れません。そんな教職員はほとんどいないと信じてはいるのですが。

みなさんは違います。若々しい心はもっと開けていて、自由に羽ばたけるのです。狭い自分にとらわれてはいけません。もし、自分がとらわれている狭い枠を自覚していないとすればこの自覚を深めてください。そしてその狭さを打ち破ってください。それが最も大きな学びだと思います。

大学での学びは、みなさん自身が作り出すものだというのはそういう意味です。学びたいのは何かを見出すことと、それを探す自分自身の判断の狭さを自覚し、その制約を自覚的に打ち砕き、新しい自分を見つけ出すという二つの意味を込めて、こう申し上げたのです。

さあ、今からこんな学びの道をとともに歩んでいきましょう。

2021年4月2日 福知山公立大学長 井口和起